

What's LGS

LGSって何？

LGS工法はライト・ゲージ・スチールの略。「軽量鉄骨」という意味ですが、実に豊富なノウハウが詰まった、「古くて、新しい」建築工法です。「部分が全体で、全体が部分」この呪文のような言葉がキーワードとなります。

取材・文／玉田敦士

3.2mmの鋼材をCの字型に加工した、通称“Cチャンネル”。これが、LGSシステムの主役です。よく思い出してみると、必ずどこかで見かけているはずの一般的な材料です。しかし、従来、Cチャンネルは、建築の壁の下地や屋根の母屋など、見えない部分に使われていたB級の材料なので、にわかに思い出せないかもしれません。しかし、建築に携わる人ならば、誰でも知っている、なじみのある、扱いやすい材料でもあります。このCチャンネルを四角いパネル状に溶接して、部品化します。建築のすべての壁面を、すべてこの四角いパネルで構成するシステム。それがLGSシステムです。それでは、LGSシステムの合理性、機動性、豊かさなどの特性をご紹介します。

建築の構造は、木造、鉄骨造（重量鉄骨）、鉄筋コンクリートの3種類が代表的ですが、LGSシステムは、いわば第4の建築構造です。

そもそも鉄は、近代を代表する素材。その精製や加工には大規模な機械設備が必要になりますから、国家が大事業を起こすための素材というイメージがあります。鉄はかつて、そんなに庶民的な建築材料ではありませんでした。